

要請番号 (JL04821A12)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ブータン	C106 きのこと栽培		個別	新規 5代目	2年	・ 2022/1 ・ 2022/2 ・ 2022/3

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

農林省

2) 配属機関名 (日本語)

国立きのこセンター

3) 任地 (ティンブー県ワンチュタバ) JICA事務所の所在地 (ティンブー市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (車 で 約 0.5 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先の国立きのこセンターは、1984年に国連開発計画(UNDP)の支援で設立された。ブータン国内のほぼ全域を対象に、きのこ栽培を農家に普及し、農家の所得向上を図ることを事業目的として、種菌製造・供給、栽培技術支援を行っている。また、野生きのこの調査・研究、マツタケ生育地の保護、管理の助言を行っている。2019年7月まで、JICA草の根パートナー型「ブータンきのこ生産農家の生活向上プロジェクト」が実施された。現在、新棟がEUプロジェクトの支援で建設中。これまで5名の協力隊員が派遣されている。年間予算は約2000万円。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

配属先は4つの部門(研究部門、生産部門、種菌製造部門、野生きのこ部門)から成る。同センターのスタッフは、日本や近隣国での研修経験のある者もあり、きのこ栽培に関する一定の知識・技術は有するが、大学などの研究機関で専門的に学んだ者はいない。上述の草の根パートナー型プロジェクトにおいて、種菌製造、安全衛生管理といった技術移転が行われたことにより、同センターのスタッフの技術向上、農家への指導・普及の改善に繋がった。配属先は、引き続き、技術面での支援を必要としており、きのこの種菌、栽培に関する経験豊かなJICA海外協力隊の協力を得て、栽培きのこの品質向上、センターのスタッフや栽培農家の更なる能力向上を望んでいることから、今回の要請に至った。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

配属先同僚と協力しながら、以下の活動を行う。

- 栽培きのこの品質向上にむけた、きのこ種菌の製造に関する助言、支援を行う。
- 農家を対象に、生産技術の指導、栽培・管理方法に関するトレーニングを行う。
- 種菌製造マニュアル、およびスタッフへの指導マニュアルの作成を支援する。
- 可能であれば、以下の活動も行う。
- 野生きのこ部門のスタッフに同行し、食用になり得る野生菌株の採取、調査、品種開発に関する助言、支援を行う。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

恒温滅菌機、おがくず製造機、おがくず攪拌機、植菌器、栽培瓶、水分計、恒温送風乾燥機、電子天秤、クリーンベンチ、冷凍装置、冷蔵運搬車、わら裁断機、マグネチックスターラー、オートクレーヴなど

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:男性1名、40代、カウンターパート、大卒、種菌製造部門長
他3名、男性、女性、30~40代、大卒、生産部門、野生きのこ部門所属

活動対象者:配属先スタッフ、きのこ農家

5) 活動使用言語	6) 生活使用言語	7) 選考指定言語
英語	英語	英語(レベル:C)

【資格条件等】

[免許]：（ ）

[性別]：（ ） 備考：

[参考情報]：

・組織培養の研究経験

・きのこ栽培の業務経験

[学歴]：（大卒）農学系 備考：指導的な活動のため。

[経験]：（実務経験）2年以上 備考：実践的な活動のため。

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（温暖冬季少雨気候） 気温：（-5～30℃位） [電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可 電話可） [水道]：（安定）

【特記事項】

- ・大学等の実習も実務経験に含む